

報道関係者各位

2016年12月16日

素敵な駅をつくる産学協同『八幡前駅プロジェクト』 2016クリスマス・イルミネート・デコレーション点灯式 & 駅にて地域住民を招いてのサンタイベントを実施

**日時 2016年12月20日(火) 15:00~16:00頃****場所 叡山電車「八幡前」駅ホーム**

同志社中学校の有志メンバー11名と、叡山電車とのプロジェクトチームでの産学協同！
八幡前駅のクリスマス演出の仕上げと、ツリーイルミネーションの点灯式を、
そして、駅での地域住民(こひつじ保育園 他)にサンタがお菓子を配るイベントを行います。

「八幡前駅プロジェクト」は、2013年に始まった同志社中学校の有志生徒と叡山電車による産学協同の「素敵な駅」をつくる取り組みです。

地下鉄開通後、八幡前駅の通学利用者は中・高全体の約1割ほどまでに激減し、また周辺地域の住民も少子高齢化が進み、過去の活気を失っている八幡前駅。**「町の人にとっても、同志社にとっても大切な八幡前駅を、もう一度素敵な駅にしたい。」**その思いで、これまでに「手すりの塗装」「壁新聞の季刊発行」「クリスマスデコレーション」「駅の全面改装」「マスコットキャラクター ハト駅長の開発」「旧チャペルイスの寄贈」など、数多くの取り組みを行ってきました。

そしてこの2016冬、プロジェクトメンバーも第6期になり、新たな発想で「2016クリスマス・イルミネート・デコレーション」に取り組んでいます！テーマは『恋のパワースポット』！！企画としては、「ハト駅長のサンタ仮装」「クリスマスツリーイルミ」「ハート型イルミのカップル椅子」「電車が来るとクリスマスソングがホームに鳴り響くシステム導入(叡電史上初)」そして、12/20(火)駅にて行う地域住民(こひつじ保育園児 他)を招いての「サンタクロースイベント(お菓子プレゼント)」をラインナップしています。“寂しい”“暗い”といった駅が抱える課題を、中学生が演出した企画で“賑わい”や“明るさ”に変えたいと願っています。本校生徒のみならず、周辺地域住民の方々や観光客にとっても駅への愛着を持っていただけると期待しています。

報道関係者の皆さまには、PBL(Problem Based Learning)やアントレプレナーシップ教育が注目されている今、京都の街に根差した本プロジェクトに是非とも着目していただき、広くご紹介していただけますようお願い申し上げます。

**【本件および取材・報道に関するお問合せ】**

同志社中学校 入試広報室(担当:古城 090-9042-8921)

TEL:075-781-7253 MAIL:chugaku@js.doshisha.ac.jp

叡山電鉄株式会社 総務部

TEL:075-702-8110

通学で使う同志社中生ら



塗装がはげた手すりをペンキで塗り替える生徒
(京都市左京区・八幡前駅)

京都市左京区の同志 染りなどに励み、駅は
社中の生徒が、通学で 徐べに生まれ変わらつ
使う近くの叡山電鉄八 ところ。
幡町駅の修繕活動に取
り組んでいる。85年前 業者を支援する「アシ
の駅開業以来、ほとん ヲカシヤパン」（東
ど未改修のため同電鉄 京都）も加わり、生徒
が学校にも協力を求め とともに修繕方法を模
た。生徒たちはペンキ 討っている。駅舎は上

いう。
鉄道部で三柱の寺司
高麗君(15)「伏見
ーらは八幡駅は
ーカル駅の1つ
が漂う。多々の人に使
つてもらえるように
張りたい」と話した。
(宇都寿)

(宇都寿)

電・八幡前駅美しく

手すりペンキ塗り替え

9つ8年の開業からは、2回改修され、23年の生徒10人が1月から駅の問題を採っていた。

14日には生徒とアシヨカ・ジャパンのメンバー計8人が、明るい印象になるように黄色のペンキで手すりを塗り替えた。大きな時計を設置するなどの改修案を、夏月下旬に同電鉄に提案し、4月以降の取り組みを相談するといっている。

鉄道部で3年の寺内高輝君(16)＝伏見区

旧礼拝堂の長椅子 同志社中・高から

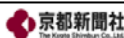
叡電 八幡前駅 Xマス色に 同志社中生が装飾
 京都市左京区の叡山
 電車八幡前駅で18日、
 同駅に近い同志社中の
 生徒5人が、特製の人
 形などを置き、赤い毛
 ールなどを取り付け、
 クリスマスの装飾をし
 た。 同中の生徒たちが、
 自分たちの手で明るい
 駅にしようと、1月に
 取り組みを始め、手す
 りの塗り替えなどをして
 いる。
 この日は上下線の本
 ームで、手書きの「イ
 エスの誕生」や「クリ



クリスマスの飾り付けをする
同志社中の生徒ら（京都市左
京区・八幡前駅）

スマスクイズ」などのポスター6枚を貼った。サンタクロースの帽子をかぶった、紙粘土製の新島襄や八重の像などを並べた。ホームには叡山電車の職員が取り付けた白と青のイルミネーションも点灯されており、クリスマスムードが高まった。駅を利用する3年の馬話真実さんは「駅名にちなんでコストを8万円に抑え、温かい駅を目指して取り組んだ。人がたくさん使うようになれば」と話している。(浅井佳穂)

ニユース



叡電八幡前駅に旧礼拝堂の長椅子 同志社中・高から



京都市左京区の叡山電鉄八幡前駅に23日、同志社高の旧礼拝堂で55年間使われていた長椅子1脚が設置された。同駅に近い同志社中と叡電が共同で企画し、関係者が「駅のシンボルになってほしい」と除幕式を行った。

八幡前駅は同志社中・高の生徒たちが通学に利用しているが、地下鉄国際会館駅の開業後は利用が減っている。2013年から同志社中と叡電が「八幡前駅をすてきな駅にしよう」と、ホームの手すりの塗装やクリスマスの飾り付けなど、活性化に取り組んでいる。

設置された長椅子は木製の4人掛けで、1955(昭和30)年から2010年まで同志社高の旧礼拝堂で使用されていた。

この日は同駅で除幕式が行われ、同志社中・高の木村良己校長や叡電の松下靖社長らが出席。木村校長は「子どもたちの成長の息吹を見守ってきた椅子が、地域の発展につながることを望みたい」とあいさつした。

【2016年06月24日 09時53分】

● レールの先にひろがる街



カフルなモビルや電飾を使い、同志社中生が築約90年の駅を飾り付けていた。京都府左京区岩倉の御山寺（鞍馬駅）にある八幡前駅、駅名の碑は、同志社のスクールカラーの紫色に塗られ、扉は金やイメージしていたが、このバネルで覆われている。

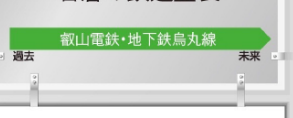
同志社と八幡前駅との関わりは、約938（昭和3）年の品物の搬送（開校3）年以前にまでさかのぼる。市中心部にあった同志社専門学校高等商業部は、学生団学に対応するため岩倉への移転を模索していた。

と振りが返る。国勢調査によると、65年に7988人だった岩倉城の人口は、70年には2662人に、80年には万人を突破。八幡駅駅の客数も、府の統計による95年度には過去最高の45人を数えた。

転機は97年によってた。市営地下鉄山陽線の際合会館駅が岩倉地域に業。京都駅や四条局丸と結ばれ、通勤、通学客が下鉄に流れ、八幡駅乗客数は翌年度に18万人まで落ち込んだ。



岩倉の鉄道盛衰



生徒の足にぎわい運ぶ

「同志社が本計画を決定すれば、鞍馬電鉄が「中略」岩倉線（同志社買収地の東側に沿って北へ走る線）にする。」（同志社百年史）にはこんな当時の文書が引用されている。新校地と新駅は不可分だったことがうかがえる。

学校法人同志社は、地下鉄利用の利便性を当て込み、2006年には同志社中を閉校、10年には同志社高をも移転させた。「一般や周知から新幹線通学する生徒は少ないです。将来、入試説明会を岡山で開催する構想もある」と同中人談。夢見の「古城郷さん」(34)は語る。

子どもたち

国立京都国際会館ができたころから家が建ち始めた」と振り返る。

国調調査によると、65年に7998人だった岩倉地域の人口は、70年には1万2662人、80年には2万人を突破。八幡開駅の乗

と新山電鉄が取り組むのを促した。さへ放題だとすくずくは明るい黄色に塗り替え、冬はモルタルなタタリリスマス仕様に飾り付けられた。今冬も「八幡開駅リノジェーション第5章」が活動している。

八幡前駅 再生も子どもたちと

三宅八幡宮で神の使いとされている。和歌山電鉄で有名になった、たまた駅長のようになれば」と期待する。駅活性化へ新たな歴史を、ゆかりの深い同志社生が、役担おうとしている。



②駅を明るくする取り組みに参加し、「ハト駅長のイラストを駅名表示に貼る同志社中生」京都市左京区岩倉 叡山電鉄八幡前駅 ③八幡前駅を降り同志社高に登校する生徒たち。駅もにぎわったという(1966年度 同志社高卒業アルバムより)